

令和7年度環境セミナー開催要領

1 開催趣旨

近年、環境問題への関心が高まるなかで、「PFAS（ピーファス）」と呼ばれる有機フッ素化合物が注目されています。PFASは、環境中に長く残留しやすく、体内や自然界に蓄積しやすい性質を持つことから、その影響が世界的にも課題とされるようになってきました。

これらの物質は、撥水性や耐熱性に優れていることから、これまで工業製品や日用品など幅広い用途で使われ、私たちの暮らしの身近なところで活用されていました。しかし近年では、その難分解性・高蓄積性・長距離移動性といった性質により、地球規模で広く分布していることが分かってきており、自然環境や私たちの健康への影響が懸念されています。

また、使用済みの製品が廃棄される過程で、PFASが大気や水、土壌などに放出されてしまうことがあり、廃棄物処理においてPFASの適切な処理が今後の重要な課題のひとつとされています。

そこで今年度は、PFAS問題の実態と対策また今後の動向について、知見を深めるため専門家から解説していただきます。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、建設業には大きな期待と責任が寄せられています。建築物の設計や施工、資材の製造・運搬、さらには建物の解体・再利用に至るまで、建設の各段階で排出されるCO₂の削減が求められています。そこで、講演Ⅱでは、建設業におけるカーボンニュートラル実現への具体的なアプローチと、グリーンカーボンを含む再生コンクリートを活用した、先進的な具体的な取り組み事例について、ご紹介いただきます。

2 開催日時 令和7年10月16日（木） 13:30～

3 開催場所 仙台銀行ホール イズミティ21 小ホール
仙台市泉区泉中央2-18-1 Tel 022-375-3101

4 対象者 行政、企業、廃棄物処理業者等 約300名

5 参加費 無 料

6 主催 公益財団法人 宮城県環境事業公社

7 後援 経済産業省東北経済産業局、環境省東北地方環境事務所、宮城県

8 タイムスケジュール

13:30 開会・挨拶

13:40 講演Ⅰ

演 題 「廃棄物に起因するPFAS問題と今後の動向」

講 師 国立環境研究所福島地域協働研究拠点（廃棄物・資源循環研究室）
室長 遠藤 和人 氏

15:10 休 憩

15:20 講演Ⅱ

演 題 「カーボンニュートラル社会へ向けた建設業の役割」

講 師 宮城大学食産業学群 建設環境材料学研究室
教授 北辻 政文 氏

16:20 閉 会

令和7年度環境セミナー申込書

下記に事業所名及びご出席者名をご記入のうえお申し込みください。メールの場合も事業所名及びご出席者をご記入の上 miya-kan@aiores.ocn.ne.jp までお申し込みください。

(このまま切らずに送信して下さい。)

令和7年 月 日

送 り 先	公益財団法人宮城県環境事業公社 企画調整課 <u>F A X 0 2 2 - 3 4 3 - 2 8 8 1</u>
事業所名	
氏 名 (複数可)	

【お問い合わせ先】 担当 企画調整課 渥美 T E L 0 2 2 - 3 4 3 - 2 8 7 7

注意事項

- ・発熱や体調不良時には、ご来場をお控えください。
- ・会場内でのマスク着用は個人の判断となります。
- ・会場内では「咳エチケット」、適切な手指消毒にご協力ください。
- ・今年度、講演内容をまとめた冊子の作成の予定はございませんので予めご了承ください。

アクセス

●仙台市地下鉄南北線、泉中央行き

「泉中央駅」下車（地下鉄仙台駅から乗車16分）。北改札口を出て地下道を「北3出口」に向かって徒歩5分。北3出口から出てすぐ。

●東北自動車道・国道4号線(盛岡方面から)

泉 IC から国道4号線を仙台方面へ。将監トンネル経由で泉区役所前交差点を右折。

※東北自動車道で福島方面から来る場合は
泉 PA スマート IC (ETC 専用) が便利です。

●国道4号線（福島方面から）

免許センター前交差点を左折し、泉中央駅前交差点を右折。

●国道48号線（山形方面から）

折立交差点から仙台北環状線を經由し、
八乙女交差点を左折、
泉区役所前交差点を左折。

※原則、公共交通機関をご利用ください。

